環境省報道発表

令和８年 11 月 13 日（金）

「廃棄物・資源循環分野のフィジカル AI コンソーシアム」の設立と会員の募集について

１．　環境省では、廃棄物・資源循環分野におけるフィジカル AI の社会実装に向けて、関係主体間の連携及び情報共有を円滑にし、業界全体の機運を醸成するため「廃棄物・資源循環分野のフィジカル AI コンソーシアム」を設立します。

２．　本コンソーシアムは、関係府省庁や地方公共団体、民間企業、廃棄物処理やフィジカル AI に関連する業界団体等の参加を想定しており、情報提供等を目的とした会合の開催、フィジカル AI の導入や実装に向けた課題や期待の集約等を主とした活動を行います。

３．　コンソーシアムへの入会を希望する方は、令和８年 12 月３日（木）までに、申込フォームからお申し込みください。本コンソーシアムの会費は無料です。

４．　令和８年 12 月 17 日（木）に、会員向けのキックオフ会合（仮称）を開催します。参加費は無料です。

【添付資料】
・別添１　廃棄物・資源循環分野のフィジカル AI コンソーシアム設立趣旨書
・別添２　廃棄物・資源循環分野のフィジカル AI コンソーシアムの概要
・別添３　廃棄物・資源循環分野のフィジカル AI コンソーシアム　規約

※　添付資料等は以下の URL からご参照ください。
https://www.env.go.jp/press/press_05819.html

＜詳細は次ページ以降＞

内容についての問合せ先
環境省環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課
代　　表：03-3581-3351
直　　通：03-5521-9273
課　　長：加藤　聖
課長補佐：福井　和樹
主　　査：石井　颯杜
担　　当：矢指本　哲

環境再生・資源循環局
資源循環課
直　　通：03-6206-1679
課　　長：相澤　寛史
課長補佐：豊村　紳一郎
課長補佐：福田　朋也

■　趣旨

廃棄物処理は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を支える社会インフラであり、将来にわたり持続可能な適正処理体制を確保することが不可欠です。一方、再生資源の供給源としての廃棄物・資源循環分野の重要性が増す中、製品構造の複雑化や分別品目の増加等により、現場の負担は増大しています。また、人口減少に伴う構造的な人手不足、作業員の安全性確保といった課題への対応も求められています。

こうした中、世界全体の潮流として、フィジカル AI や AI ロボティクスへの期待が集まっており、技術が急速に発展しています。我が国においても、令和８年３月に「AI ロボティクス戦略」が策定され、この中で廃棄物処理業はその需要創出と導入環境整備を行う領域の一つに位置付けられています。

一方、廃棄物処理・資源循環の現場へのフィジカル AI の導入にあたっては、技術の供給側と現場の需要側との間で課題やニーズを十分に共有することが難しいこと、技術実証に向けた AI・ロボット関係事業者と現場とのマッチングが十分でないこと、必要なルールが整備されていないことなど、個々の事業者のみでは解決が困難な課題があります。

このような背景を踏まえ、廃棄物・資源循環分野におけるフィジカル AI の社会実装を加速するため、技術の供給側及び現場の需要側をはじめとする多様な関係主体が連携し、情報を共有するとともに、業界全体の機運を醸成する場として、「廃棄物・資源循環分野のフィジカル AI コンソーシアム」（以下、「本コンソーシアム」という。）を設立します。

本コンソーシアムの設立趣旨の詳細や目的、当面の活動内容等については、別添１（設立趣旨書）及び別添２（コンソーシアムの概要）をご確認ください。

■　入会申請方法

本コンソーシアムへの入会を希望される方は、以下よりお申し込みください。

申込フォーム：https://forms.cloud.microsoft/r/XR5Bn45xi2

申込期限：令和８年 12 月３日（木）

※ 別添３（規約）を必ずご確認ください。

■　キックオフ会合（仮称）の開催

日時：令和８年 12 月 17 日（木）13:30-15:00

開催形式：対面とオンラインのハイブリッド

会場（対面）：株式会社日本総合研究所　社会価値共創スタジオ
（東京都千代田区丸の内 1-5-1　新丸の内ビル　15 階）
https://www.jri.co.jp/company/map/tokyo/marunouchi/

定員：50 名程度（対面）

参加費：無料

主催：環境省

※ オンラインに関する情報は、後日、コンソーシアム参加申込者宛てにご案内します。

■　キックオフ会合（仮称）プログラム（予定）

１．開会挨拶・コンソーシアム設立趣旨の説明
２．講演　（経済産業省 AI ロボティクス室長）
３．廃棄物・資源循環分野におけるフィジカル AI の取組事例紹介（３者程度）
４．参加者間の交流（対面での参加者のみ）

※ プログラムの内容は変更となる場合があります。

■ **報道関係の方へ**

・　会場での会議冒頭のカメラ撮りは可といたします。オンライン上での画面の録画等はご遠慮ください。

・　取材可能な範囲は、上記プログラムのうち１．及び２．とさせていただきます。３．の取組事例紹介が始まる前にご退席いただきますので、ご了承ください。

・　取材を希望される報道関係者につきましては、令和８年 12 月３日（木）までに、電子メールにて、件名に「フィジカル AI コンソーシアム会合取材希望」と明記し、本文に住所・所属（会社名）・氏名・電話番号・取材方法（対面またはオンライン）をご記入の上、以下の連絡先までお申し込みください。

（連絡先）

○　環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課
E-mail:hairi-haitai(at)env.go.jp
※(at)を@に置き換えてください。

・　会場でのカメラ撮りを希望される場合は、その旨を併せて記載してください。

・　会場での取材に際しては、自社腕章を携帯していただくようお願いします。

以　上